

統合準備委員会だより

第2号

令和7年12月発行 胎内市立中学校統合準備委員会

第2回統合準備委員会を開催



小谷委員長の開会の挨拶

10月21日(火)午後1時30分から胎内市役所で、「第2回胎内市立中学校統合準備委員会」が行われました。

初めに小谷委員長の開会の挨拶の中で『統合の方法』については、前回の会議で「新設統合の方向で意見が一致したこと」の確認がありました。

次に、『中学校の設置場所』については、「子どもたちの安心安全の確保」、「教育活動の充実」、「駐車場やアクセス道路の問題」等の視点で話し合わせ、その中で『「中条中学校周辺」と「ふれすぽ胎内周辺」がよいのではないか。』という意見が、グループ協議で多く聞かれたとの報告がありました。

その後、事務局からの「前回での疑問点に対する回答も含めた協議内容の説明」後、文部科学省が示す「中学校施設整備指針」等を参考に、グループでの協議とその内容等を全体で情報共有する機会を設けました。

第2回統合準備委員会の内容

【概要】

- 1 小谷委員長の開会の挨拶〈前回の協議内容の確認も含めて〉
 - 2 前回での質問等に対する回答と候補地に関する事前説明〈スライドで説明〉
- 【第1回の委員会で作された主な意見】
- (1) 開校までの期間
 - (2) 建設コスト
 - (3) 教育活動の充実
 - (4) 通学の安心・安全
 - (5) 周辺道路・駐車場
- 3 意見交換(グループでの「グループ協議」)
 - 4 各グループからの協議内容の説明・発表〈全体での共有〉



事務局からの説明

第1回委員会での主な質問等に対する回答〈事務局からのスライドでの説明内容〉

1 開校までの期間に関して

- ・できるだけ早く統合してほしいけれど、開校までの期間はどれぐらいかかるのだろうか。

- ・右の表は、あくまで順調に進んだ場合の想定になります。ふれすぽ胎内や胎内小学校周辺については、用地取得が必要になったり、場所によっては計画変更手続きや、県や国との協議が必要になったりする場合もあるので、早くても令和18年度以降になることも想定されます。

開校までの期間(現時点での想定)		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
中条中学校とその周辺	新中学校基本構想												
	基本設計実施設計												
ふれすぽ胎内周辺	新中学校基本構想												
	基本設計実施設計												
胎内小学校周辺	新中学校基本構想												
	基本設計実施設計												

※あくまで現場の最見込みのため、前後する可能性があります。

2 建設コストに関して

- ・財政的な面も考える必要があるのでは。
- ・それぞれの候補地の建設コストを比べると、どれぐらい差があるのだろうか。

必要経費比較(現時点での想定)

項目	中条中学校とその周辺	ふれすぽ胎内周辺	胎内小学校周辺
新校舎建設	必要	必要	必要
体育館建設	不要※	必要	必要
グラウンド整備	不要※	必要	必要
仮設校舎建設	不要※	不要	不要
建設用地取得	不要	必要	必要
建設用地地盤改良	不要※	不要※	必要

- ・左の表は、建設にかかる必要経費を比較したものです。今後の建設計画によっては「不要」と記載されていても「必要」となる場合もありますが、中条中学校とその他の候補地では、かなりの差が出てくるのが想定されます。

3 教育活動の充実に関して

- ・「ふれすぽ胎内」周辺なら、「ふれすぽ胎内」や「B & G 体育館」などが利用できそう。
- ・でも、部活動ではそんなに使っていないようだし、他の利用者もいるのであまり使えないのでは。



- ・各中学校の部活動の活動場所は、右のようになっています。
- ・統合する10年後の部活動については、統合時の生徒数や部活動への入部者数などを想定すると、現在の中条中学校と同程度またはそれ以下の内容や規模になると思われます。

陸上競技	陸上競技場
バスケット	ふれすぽ胎内 (中条高校へ行く場合あり)
テニス	国際交流公園テニスコート
野球	グラウンド (黒川中へ行く場合あり)
バレーボール	体育館／旧本条小体育館
卓球	体育館
バドミントン	体育館／旧本条小体育館
柔道	柔道場
剣道	体育館
吹奏楽	音楽室
美術	美術室

テニス	テニスコート
野球	グラウンド (黒川中へ行く場合あり)
バレーボール	体育館
バドミントン	体育館
文化	技術室など
バスケット	体育館
卓球	ランチルーム
文化	PC教室、音楽室など
テニス	テニスコート
野球	グラウンド
卓球	卓球場
吹奏楽	音楽室
コンピュータ	PC教室



4 通学の安心・安全に関して

- ・中条中学校とその周辺なら民家も多いので、地域で見守り体制がとれて安心ね。
- ・でも、周辺の道路が狭いけれど、安全性は大丈夫だろうか。



- ・どの候補地になっても徒歩や自転車通学の生徒が、全校の8割程度になります。「地域の見守り体制」や「頻繁な車の出入りを伴う施設」、「通行量の多さ」、「自然災害に対する安全性」などの視点から一覧表に整理すると、右のようになります。

	地域住民の目・見守り体制	周辺に頻繁な車の出入りを伴う施設がないか	通行量の多い道路を避けることができるか	自然災害に対する安全性	その他
中条中学校とその周辺	○	○	△ 天気が悪い日は保護者送迎が多い	○	△ 周辺の道路が狭い
ふれすぽ胎内周辺	△ 民家が少なく見守り体制が確保しづらい	△ 工場が多く大型トラックの出入りが想定される	△ 通勤時間帯の通行量が多い	△ 浸水の懸念	—
胎内小学校周辺	○	△ 商業施設などがあり、車の出入りが想定される	△ 通勤時間帯の通行量が多い	△ 浸水の懸念	△ 小学生や園児も通るため、全体的な安全が心配



5 周辺道路・駐車場に関して



- ・現在の中条中学校とその周辺に設置する場合、周辺道路の整備が必要になるのでは。

〈道路が狭いことに関して〉

- ・中条中学校と旧中条体育館の敷地を後退させて、隣接する道路を拡幅する方法などが考えられます。
(学校の敷地を青色の点線から赤色の実線へ)

〈駐車スペースの確保に関して〉

- ・旧中条体育館の敷地を一体的に整備して、駐車スペースを確保する方法などが考えられます。

〈バス通学の人数に関して〉

- ・通学距離が現在国の指針に沿って運用している6kmを超える行政区とした場合、令和16年度においては3つの候補地全てで、「マイクロバスやワンボックスカー」での対応が想定できます。



開校予定（R16年度）時のバス通学の生徒数（見込み）

R16年度

通学距離が6kmを超える行政区とした場合

※（）は冬期の人数（通学距離が2.5kmを超える行政区とした場合）

候補地	中条地区	乙地区	築地地区	黒川地区	合計
中条中学校とその周辺	0人 (77人)	22人 (35人)	24人 (49人)	10人 (37人)	56人 (198人)
ふれすぽ胎内周辺	0人 (203人)	13人 (34人)	22人 (40人)	37人 (37人)	72人 (314人)
胎内小学校周辺	0人 (60人)	26人 (35人)	18人 (49人)	25人 (37人)	69人 (181人)

生徒数

中条	311人
乙	35人
築地	49人
黒川	37人
合計	432人

マイクロバスやワンボックスカーで対応可能

グループでの意見交換の内容

〈Aグループ〉 「中条中学校とその周辺が一番適している」

理 由

- ・市役所、産業文化会館など、施設設備が充実している。
- ・既に、中学校があることで地域の方の理解も進んでいる。
また、地域の人たちに見守られている場所である。
- ・新しい校舎が建つ前に、今の校舎を利用して、統合を前倒しできる可能性がある。

配 慮 事 項

- ・学校周辺の道路を拡幅しても、その他の周辺道路の道幅が狭い。特に降雪時が心配である。
- ・バス等の昇降場所を、市役所にする方法も考えられる。



〈Bグループ〉 「中条中学校とその周辺が一番よいのではないか」

理 由

- ・最も早く開校できる。 ・建設コストが抑えられる。
- ・中条高校や産業文化会館などとも近接しているので、活用できることも魅力である。
- ・中条中学校とその周辺でも中学校建設に必要な土地の広さを確保できる。

配 慮 事 項

- ・周辺道路の拡幅が大事になる。
- ・統合しても、現在の中条中学校の生徒数とあまり変わらないのなら、
通学バスやロータリーを確保できれば対応できると思う。



〈Cグループ〉 「中条中学校とその周辺が現実的である」

理 由

- ・既設の体育館やグラウンドなどが活用できる。
- ・開校を遅らせることのデメリットは大きいので、早く開校できることが大切になってくる。
- ・中条中学校とその周辺なら徒歩や自転車通学の生徒が多く、地域の人たちによる見守りや
つながりが生まれやすい。

配 慮 事 項

- ・周辺道路の整備も大切である。



〈Dグループ〉 「中条中学校とその周辺の環境が適している」

理 由

- ・産業文化会館、高校、小学校が近くにあるなど、文教地域としてよい環境である。
- ・人口減少を考えると一刻も早く統合した方がよい。
- ・スクールバスの増便などの工夫により、保護者の送迎も少なくなるので、周辺道路については
そんなに心配はいらないと思う。
- ・他の2つの候補地は朝夕の交通量が多く、特に冬期間や荒天時の通学にはあまり適していない。

配 慮 事 項

- ・体育祭や合唱などの交流活動等、統合前の生徒間の交流を深めていく機会を設けることが大切
になってくる。



第2回委員会での結論・まとめ

〈協議・検討、全体で共有された内容〉

- 1 中条中学校とその周辺は地域の方々による生徒を見守る多くの目と心があり、十分行き届いていること。
- 2 中条中学校とその周辺は近くに小学校や高等学校、市役所、産業文化会館などの文教施設もあり、よい環境であること。
- 3 中条中学校とその周辺以外の建設候補地は、建設用地取得等のためにかなりの時間がかかることが懸念されること。
- 4 今の中条中学校と旧中条体育館の敷地面積は、新しい中学校の建設地として十分な広さであること。
- 5 ふれすぽ胎内周辺は、冬季間の吹雪等による交通渋滞や工場が近いということも心配材料であること。



☆統合中学校の候補地には、「中条中学校とその周辺」が望ましい

〈配慮事項〉

- 1 周辺道路の整備をはじめとした通学の安心安全の確保や、スクールバスのスムーズな運行
- 2 統合前から4校の生徒の交流活動を推進し、同じ胎内市の中学生としての意識の醸成

第3回委員会に向けて

次回の統合準備委員会は、「校名の決定方法」などについて、協議・検討する予定です。引き続き、統合準備委員会で協議・検討された内容については、保護者や地域の皆さまには「市のホームページ」や「統合準備委員会だより」等を通じてお知らせします。

また、ご意見等がありましたら、統合準備委員会事務局までお聞かせください。



＝次回（第3回）の開催予定＝
期 日：令和7年12月3日（水）
時 間：13:30～15:00
場 所：胎内市産業文化会館 会議室

【発行責任者】統合準備委員会 委員長 小谷 太一郎
【問い合わせ先】統合準備委員会事務局
胎内市教育委員会学校教育課学校教育係
〒959-2807 胎内市黒川1410番地 胎内市役所黒川庁舎2階
Tel 47-2711(代表) Fax 47-2935
e-mail gakuji@city.tainai.lg.jp